

耐震改修？ 新築？

役場庁舎のあり方検討委員会設置へ

12月 定例会

◆教育委員会委員の任命

12・15をもって任期満了となる教育委員として、次の方の再任を承認。

真室川町大字新町57番地
遠田 且子氏

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

12・20をもって任期満了となる審査委員として、次の方の再任を承認。

真室川町大字差首鍋
1509番地
佐藤 重孝氏

◆課設置条例の一部改正

行政事務の効率化、住民サービスの向上を

12月定例会は12月10日から12日までの3日間の会期で開かれ、人事案件、条例改正、一般会計・特別会計補正予算など、町長提出案件7議案を慎重に審議し、それぞれ原案のとおり承認・可決されました。

図るため、現在の課組織機構を4月から変更するもの。

◎主な変更

●企画課↓交流課
・商工業、雇用対策・企業誘致、町ブランド推進、観光物産、定住対策及び交流等を担当

●産業課↓農林課

・農林畜産業、土地改良、環境王国、農業委員会、バイオマス振興等を担当

◆医師住宅設置及び管理条例の一部改正

釜淵診療所医師住宅の老朽化による解体に伴うもの。

70万円に歳入歳出それぞれ1,250万円を追加。

◎主なもの

・灯油価格高騰緊急対策灯油購入費助成費
243万6,000円
・未熟児養育医療費
160万円
・農地集積協力金
400万円

・環境王国推進交付金
453万2,000円
・町民体育館太陽光発電設置工事設計委託料
299万3,000円

役場庁舎のあり方検討委員会

◆一般会計補正予算

既決予算50億1,7

耐震診断の結果、補強工事費用が多額となると判明したため、新



築52年経過した役場庁舎

築の可能性も視野に、学識経験者や議員、区長会役員、公募委員による検討委員会を設置することとなり、委員会関連予算が計上された。

問 庁舎補強で最低5億円くらい、新築となつた場合もつと厳しい財政状況にならざるを得ない。どのように感

謹賀新年



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃、皆様方には議会活動並びに交流事業等に、格別のご支援とご協力を賜り、真室川町議会を代表致しまして厚く御礼を申し上げます。

昨年は、17年ぶりに消費税が5%から8%に引き上げられ、増税後は個人消費が低迷し、2四半期連続のマイナス成長となり私たちの生活はますます厳しいものとなりました。

また、戦後最大の火山災害となった御岳山噴火、広島市の記録的豪雨による土砂災害など、今まで経験したことのない大水害、大規模な土砂崩れ、河川の氾濫等の災害が全国各地で相次ぎ、県内では南陽市などが大きな被害を受けました。被災者の方々に心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧・復興を願うものであります。

そのような中、ソチ五輪ではフィギュアスケート男子で羽生結弦選手が金メダル、テニスでは錦織圭選手が全米オープン準優勝と日本国中を沸かせ、新たな歴史が刻まれた一年でありました。

更に、山形旋風をもたらした「モンティデオ山形」のブレイオフからのJ1昇格、天皇杯準優勝は、最後まで諦めない粘り強い山形を全国にアピールし、サッカーを超えて多くの人に勇気と感動を与えました。

さて、昨年暮れの降って湧いた衆議院解散総選挙では、自民、公明両党が公示前勢力を上回る326議席を獲得し大勝、自公で定数の3分の2超を維持し、長期政権への足場を固め、12月24日に第3次安倍内閣が発足、「アベノミクス」を継続させました。

政府は、人口減少や高齢化は、わが国が直面する喫緊の課題であり、「地方創生」は活力ある地方をつくるために極めて重要な政策であるとしておりますが、地域が生き生きと、そして国民が健康で、安心、安全、豊かさが底辺まで実感できるような社会の実現に向けた政策を期待するものであります。

今後、国の施策を見極めながら、執行部と両輪となり町民のための町政に議員一同取り組んでまいりる所存でございます。更に皆様方からのご支援をいただきますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年のあいさつといたします。

真室川町議会議長 佐藤 忠吉



本年もよろしく
お願いいたします